教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅰ	◆科目コード	60706	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2023/24年度	◆開講時期	1年（後期）～ 2年（前期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師 （実務経験有）	◆授業の回数	3h×50
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	エステティックトリートメントの基礎を理解し、ボディ機器理論・技術を身につける。 解剖生理学を理解し、正しく安全に機器を操作できる。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした実務経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	ボディエステティックを通し、各マッサージや目的や効果・テクニックを学びトリートメント方法を習得する。 コンサルテーションを理解しスムーズに実践できる様にする。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1	学科	エステティック概論 / エステティックの定義	美とは何かを理解し、ソワンとメディカルエステの違い	新エステティック学	
2		骨と筋肉（役割・機能・構造）	全身の骨・筋肉について学ぶ		
3	解剖生理学	関節運動と筋肉の関係	骨と筋肉の連動運動について知る		
4		循環器系の役割	血液・血管の構造・機能・役割を覚える		
5		循環器系 / リンパの役割・働き①P108~109	リンパ系について（構造・機能・循環・浮腫みについて）		
6		循環器系 / リンパの役割・働き②P111~112	図で確認させる		
7		神経系 / 中枢神経	神経系の種類・脳の構造・脳の働きについて覚える		
8		神経系 / 末梢神経	自律神経・体制神経について覚える		
9		筋肉・骨格・循環器・神経系　確認テストP57~59	確認テスト		
10		内分泌系ホルモン①　ホルモンの構造・機能・役割	甲状腺・膵臓・成長ホルモンについて覚える		
11		内分泌系ホルモン②　ホルモンの構造・機能・役割			
12		内分泌系ホルモン③　ホルモンの構造・機能・役割P121	性ホルモン・副腎について覚える		
13		内分泌系ホルモン④　ホルモンの構造・機能・役割			
14		免疫系　免疫の仕組み・種類・機能・役割について			
15		呼吸器・泌尿器系	肺・腎臓の構造・機能・役割について覚える		
16		消化器系①	口腔・咽頭・食道・胃について・構造・役割を覚える		
17		消化器系②	肝臓・小腸・大腸・肛門について　構造・機能・役割		
18	機器学科	電気機器と原理	エステティックで使用する電気機器の種類と原理の理解		
19		電気機器の活用方法・禁忌・注意事項・事項	機器の目的と効果の理解		
20		低周波・目的と効果	機器の目的と効果の理解		
21		G5に・目的と効果	機器の目的と効果の理解		
22		サクション・目的と効果	リンパ循環を理解し機器の目的効果を知る		
23		ボディ技術理論①	ボディケアの目的を理解する		
24		ボディ技術理論②	体型の確認（骨格・筋肉）を覚える		
25		ボディ技術理論③	ボディケアでの禁忌事項		
26		ボディ技術理論④・機器確認テスト	ボディ化粧品の種類と目的を知る・機器確認テスト		
27	栄養学	栄養学①	5大栄養素を知る		
28		栄養学②	栄養価・栄養所要量を知る		
29		化粧品学①	化粧品の基礎知識・定義を学ぶ		
30		化粧品学②　目的と働きを理解する	化粧品の使用目的を理解する		
31	運動生理学	運動生理学・運動の必要性	運動と代謝につて		
32		姿勢・肥満の測定法	体格素数について(BMI)		
33	カウンセリング	エステティックカウンセリング①	エステティックカウンセラーの役割		
34		エステティックカウンセリング②	ストレスが及ぼす美容上への影響と『ホメオスタシス』		
35		エステティックカウンセリング③	心のメカニズムと顧客心理		
36		ボディカウンセリング	体型と体質の判断（前湾・後湾・側湾）		
37	実技/Body	ボディ分析　/　ボディチェック①	採寸・筋肉・脂肪・姿勢その他のトラブルがチェックできる様にする		
38		ボディ分析　/　ボディチェック②	ボディチェックをスムーズに行えるようにする		
39		ボディ分析　/　ボディチェック③・マッサージ技術（下肢）			
40		吸引（サクショントリートメント）・デモンストレーション①下肢	サクションの目的と効果、取扱い方法を理解		

41		吸引（サクショントリートメント）②	リンパ循環を理解する			
42		吸引（サクショントリートメント）③				
43		吸引（サクショントリートメント）・デモンストレーション①背中	リンパ循環を理解し、工程を覚える			
44		吸引（サクショントリートメント）②				
45		吸引（サクショントリートメント）③				
46		吸引（サクショントリートメント）・デモンストレーション①臀部・腹部	リンパ循環を理解し、工程を覚える			
47		吸引（サクショントリートメント）②				
48		吸引（サクショントリートメント）③				
49		吸引（サクショントリートメント）・マッサージ技術（下肢）	サクション～マッサージ下肢を流れで行う 確認テスト			
50		低周波（EMS）・デモンストレーション①後面	低周波の目的と効果・取り扱い方法を理解			
評価方法及び基準		100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）				
		【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価				
		①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。				
		②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。				
		③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。				

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅱ	◆科目コード	60707	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（前期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×60
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	エステティックトリートメントの基礎を理解し、フェイシャル機器理論・技術を身につける。 解剖生理学を理解し、正しく安全に機器を操作できる。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	フェイシャルエステティックを通し、各マッサージや目的や効果・テクニックを学びトリートメント方法を習得する。 コンサルテーションを理解しスムーズに実践できる様にする。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1		低周波（EMS）②後面	全身の筋肉の名称と位置を理解する			
2		低周波（EMS）③後面	全身の筋肉の名称と位置を理解し、的確な位置にパッドを貼る			
3		低周波（EMS）④後面	目的に合わせてパッドを貼れる様にする/ 起始・停止の理解			
4		低周波（EMS）・デモンストレーション①前面				
5		低周波（EMS）②前面	全身の筋肉の名称と位置を理解する			
6		低周波（EMS）③前面				
7		低周波（EMS）④前面	目的に合わせてパッドを貼れる様にする/ 起始・停止の理解			
8		低周波（EMS）＋マッサージ①	目的に合わせてEMSを行う			
9		低周波（EMS）＋マッサージ②				
10		低周波（EMS）＋マッサージ③＋コンサルテーション含む	目的をたてスムーズにEMSを行う 確認テスト			
11	学科	エステティック概論 / エステティックの定義	美とは何かを理解し、ソワンとメディカルエステの違い			
12	解剖生理学	骨と筋肉（役割・機能・構造）	顔の骨・筋肉について学ぶ			
13		循環器系の役割	血液・血管の構造・機能・役割を覚える			
14		循環器系 / リンパの役割・働き①P108~109	リンパ系について（構造・機能・循環・浮腫みについて）			
15		循環器系 / リンパの役割・働き②P111~112	図で確認させる / 顔のリンパ循環			
16	皮膚科学	毛孔詰まりの特徴・要因	毛孔詰まりの原因を学び、トリートメントの組み立てに繋げる			
17		ディープクレンジングの選択・目的①	ディープクレンジングの種類・目的効果・使用化粧品について学ぶ			
18		ディープクレンジングの選択・目的②	酵素・粒子あり・粒子なし・ブラシクレンジング			
19		ディープクレンジングの選択・目的③	ディスインクラステーション			
20		色素沈着	原因とケア方法			
21		シワ・タルミ（老化肌）	原因とケア方法			
22		水分不足・乾燥肌	原因とケア方法			
23		顔の循環について / むくみ	原因とケア方法			
24		肌分析について①	肌の分析方法を学ぶ			
25		肌分析について②	肌分析をし肌タイプに合わせたトリートメントプランを立てる			
26		ニキビとホルモンの関わり	肌分析をし肌タイプに合わせたトリートメントプランを立てる			
27		肌トラブルについて・確認テスト	確認テスト			
28	機器学科	電気機器と原理	エステティックで使用する電気機器の種類と原理の理解			
29		電気機器の活用方法・禁忌・注意事項・事項	機器の目的と効果の理解			
30		イオントフォレーゼ / 1年次の復習	機器の目的と効果の理解/ 肌タイプに合わせた目的と効果			
31		ディスインクラステーション	ディープクレンジングの目的・機器の原理			
32		高周波①	原理・目的と効果/ 取り扱い			
33		高周波②	直接法 / 時間と効果の違い			
34		高周波③	間接法 / トリートメントの組み合わせ方			
35		フェイシャル低周波機器①	目的と効果・パット方法			
36		フェイシャル低周波機器②/ 筋肉の理解	低周波機器とトリートメントの組み合わせ			
37	解剖生理学	解剖生理学・機器学科確認テスト	確認テスト			
38	化粧品学	化粧品学①	使用化粧品について学ぶ			
39		化粧品学②	化粧品の成分と効果			
40	栄養学	栄養素の基礎知識	栄養素と健康の関係を知る。ホームケアアドバイスに繋げる			
41	衛生/衛生管	サロンでの消毒・衛生①	手指の衛生消毒の重要性			

42		サロンでの消毒・衛生②	機器・試用器具の消毒方法・			
43	カウンセリング	エステティックカウンセリング①	エステティックカウンセラーの役割			
44		エステティックカウンセリング②	ストレスが及ぼす美容上への影響と『ホメオスタシス』			
45		エステティックカウンセリング③	心のメカニズムと顧客心理・ホームケアアドバイス			
46		フェイシャルカウンセリング	肌分析を確実にする			
47	実技/Facial	肌分析 / スキンチェック①	コンサルテーション記入方法			
48		肌分析 / スキンチェック②	肌分析・拡大鏡を使用			
49		肌分析 / スキンチェック③	トラブルを見極める・トリートメントの選択			
50		高周波機器 / 直接法① デモンストレーション	高周波直接法の使用方法・目的効果			
51		高周波機器 / 直接法②	原理・目的と効果 / 取り扱い			
52		高周波 / スパーク法（閃光法）①デモンストレーション	高周波閃光法の使用方法・目的効果			
53		高周波 / スパーク法（閃光法）②	禁忌事項・ニキビ肌の段階別ケア			
54		高周波 / 間接法①デモンストレーション	高周波間接法の使用方法・目的効果			
55		高周波 / 間接法②	禁忌事項・乾燥肌のケア			
56		フェイシャル低周波①デモンストレーション	原理・目的と効果 / 取り扱い			
57		フェイシャル低周波②	禁忌事項・タルミのケア			
58		肌分析～デープクレンジングの選択①	コンサルテーションをスムーズに行いディープクレンジングの選択			
59		肌分析～デープクレンジングの選択②				
60		肌分析～デープクレンジングの選択③	肌タイプをしっかりと見極めて提案			

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅲ	◆科目コード	60708	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×60
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	日本エステティック協会（AJESTHE）の資格を理解し・CIDESCOインターナショナル資格試験に合格する為の技術・知識を身につける。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	AJESTHE認定上級試験・CIDESCOインターナショナル試験に必要なメイク・ネイル技術とティンティング技術をマスターする。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1		肌分析～機器選択①	肌分析～トラブルの原因に対して機器選択ができる			
2		肌分析～機器選択②				
3		肌分析～機器選択③	確認テスト			
4		肌分析に合わせたトリーメントプラン①	肌分析～トラブルの原因トリートメントプランを立てる			
5		肌分析に合わせたトリーメントプラン②				
6		肌分析に合わせたトリーメントプラン③				
7		マッサージテクニック①	応用マッサージテクニックを取得			
8		マッサージテクニック②	目的に応じたマッサージ技術			
9		肌分析に合わせたトリーメントプラン（マッサージ・マスク含む）①				
10		肌分析に合わせたトリーメントプラン（マッサージ・マスク含む）②				
11	実技/Facial	ティンティング技術①　デモンストレーション	デインティングの目的・効果			
12		ティンティング技術②	まつげ眉毛の染める時間の確認			
13		ティンティング技術③＋ツイージング	仕上がりを意識してスムーズに行う			
14		ティンティング技術④＋トリートメントの流れ	ティンティング～トリートメント技術を行う			
15		ティンティング技術⑤＋トリートメントの流れ	時間を意識しスームーズに行う 確認テスト			
16	メイク	メイク①DAYメイク	ベースメイクから行う			
17		メイク②DAYメイク	理体感を意識し、イメージに合わせたメイク			
18		メイク③DAYメイク	眉の形・アイライン・リック・チークの位置を含めい			
19		メイク④DAYメイク	エステのケアからの目的に合わせたメイク			
20		メイク⑤DAYメイク・	25分のタイムを意識する・仕上がり説明を行う			
21		メイク⑥DAYメイク・確認テスト	確認テスト			
22	ネイル	ケア&カラーリング①ハンド	ネイルケアの工程の確認・目的			
23		ケア&カラーリング②ハンド	仕上がりを意識した技術を行う			
24		ケア&カラーリング③ハンド	爪の形・病気・ウイルスについて学ぶ			
25		ケア&カラーリング④ハンド	イメージとクライアントの職業に合わせて形を決める			
26		ケア&カラーリング⑤ハンド	時間を意識し一連の流れで行う・カラーリングの練習			
27		ケア&カラーリング①フット	ネイルフットケアの工程の確認・目的			
28		ケア&カラーリング②フット	仕上がりを意識した技術を行う			
29		ケア&カラーリング③フット	爪の形・病気・ウイルスについて学ぶ			
30	Fマスク	肌分析に合わせてマスクを選択・マスク技術①	目的と効果・部位によっての塗り分け			
31		肌分析に合わせてマスクを選択・マスク技術②	マスクに使用する化粧品の成分を学ぶ			
32		肌分析に合わせてマスクを選択・マスク技術③	マスク塗布～マスクOFFまで 確認テスト			
33	実技/Body	バイブレーター（G5)下肢後面①デモンストレーション	G5の目的と効果・取り扱い方法を理解			
34		バイブレーター（G5)下肢後面②	禁忌事項を理解し技術工程を覚える			
35		バイブレーター（G5)下肢前面①デモンストレーション	目的効果を理解しスムーズに行う			
36		バイブレーター（G5)下肢前面②	ヘッドの名称効果を覚える			
37		バイブレーター（G5)臀部・腰背部①デモンストレーション				
38		バイブレーター（G5)臀部・腰背部②	目的効果を理解しスムーズに行う			
39		バイブレーター（G5）腹部①デモンストレーション				
40		バイブレーター（G5）腹部②	目的効果を理解しスムーズに行う			
41		バイブレーター（G5）腹部③	ヘッドの消毒方法を学ぶ			

42		機器確認テスト	G5確認テスト			
43		プレトリートメント・赤外線①デモンストレーション	赤外線の目的と効果			
44		プレトリートメント・赤外線②				
45		プレトリートメント・ボディスクラブ①デモンストレーション	スクラブの成分・目的・効果			
46		プレトリートメント・ボディスクラブ②	技術テクニックを学ぶ			
47		プレトリートメント・ヒートマット①デモンストレーション	ヒートマットの目的効果			
48		プレトリートメント・ヒートマット②	時間を意識する			
49		コンサルテーション～プレトリートメントと機器の選択				
50		コンサルテーション～プレトリートメントと機器の選択	目的と効果の説明ができる・確認テスト			

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅳ	◆科目コード	60709	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（後期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×60
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	日本エステティック協会（AJESTHE）の資格を理解し・CIDESCOインターナショナル資格試験に合格する為の技術・知識を身につける。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	コンサルテーション力をしっかりと身につけ、トリートメントプランをたてをててることができる。 生理解剖学を理解し、技術と理論を繋げる。症例研究として同じモデルに繰り返し行うことで、結果を出せる技術を行う。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材		備考
1	学科	CIDESCO試験・応用理論①	CIDESCO筆記試験対策			
2		CIDESCO試験・応用理論②				
3		CIDESCO試験・応用理論③				
4		CIDESCO試験・応用理論④				
5		CIDESCO試験・応用理論⑤・模擬テスト	模擬テスト			
6		CIDESCO試験・応用理論⑥				
7		CIDESCO試験・応用理論⑦				
8		CIDESCO試験・応用理論⑧				
9		CIDESCO試験・応用理論⑨				
10		CIDESCO試験・応用理論⑩・模擬テスト	模擬テスト			
11	実技 /Body	バンテージ①デモンストレーション	リンパ循環・目的・効果			
12		バンテージ②	塩分濃度の理解・準備			
13		バンテージ③	目的に合わせた技術・巻き方			
14		バンテージ④	下肢・大腿部・臀部			
15		バンテージ⑤	腹部・ヒップアップ			
16		ボディパック①デモンストレーション	目的・効果・成分を学ぶ			
17		ボディパック②	コンサルテーション～モデルに合わせたパックの選択			
18		ボディパック③	コンサルテーション～モデルに合わせたパックの選択			
19		ボディパック④	塗り・仕上がり・拭き取りをスムーズに行う			
20		ボディパック⑤	塗り・仕上がり・拭き取りをスムーズに行う			
21		ガルヴァニック①デモンストレーション	目的と効果の理解			
22		ガルヴァニック②	パディング方法			
23		ガルヴァニック③	禁忌事項の理解			
24		ガルヴァニック④	＋と−の時間と効果			
25		ガルヴァニック⑤				
26		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ①	温熱トリートメントと機器選択を含めモデルに合わせて行う			
27		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ②	温熱トリートメントと機器選択を含めモデルに合わせて行う			
28		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ③	温熱トリートメントと機器選択を含めモデルに合わせて行う			
29		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ④	コンサルテーションをスムーズに行い、ホームケアアドバイスまで行う			
30		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑤	コンサルテーションをスムーズに行い、ホームケアアドバイスまで行う			
31		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑥	コンサルテーションをスムーズに行い、ホームケアアドバイスまで行う			
32		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑦	プレトリートメントと機器を目的と効果に合わせて繋げる			
33		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑧	プレトリートメントと機器を目的と効果に合わせて繋げる			
34		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑨	プレトリートメントと機器を目的と効果に合わせて繋げる			
35		プレトリートメント～CIDESCO一連の流れ⑩	プレトリートメントと機器を目的と効果に合わせて繋げる			
36	症例研究 / 学科	Body症例研究・コンサルテーション	コンサルレーションを確実にとりトリートメントプランを立てる			
37		Body症例研究・コンサルテーション	症例研究のテーマを作る			
38		Body症例研究・トリートメントプラン	化粧品の成分・機器の目的と効果を理解し進める			
39		Body症例研究・トリートメントプラン	化粧品とハンドテクニックのみでの効果を想定する			
40	症例研究 / 実技	Body症例研究①	ディープクレンジングと機器との組み合わせを理解する			
41		Body症例研究②	研究結果を1回ずつ確認・撮影			

42		Body症例研究③	変化を確認し、さらにホームケアアドバイスなどを見直す			
43		Body症例研究④	最終の結果を確認			
44		Body症例研究①	化粧品とテクニックの効果を出すためにデープクレンジング・マスクを含む			
45		Body症例研究②	研究結果を1回ずつ確認・撮影			
46		Body症例研究③	変化を確認し、さらにホームケアアドバイスなどを見直す			
47		Body症例研究④	最終の結果を確認			
48	症例研究 / 学科	Body症例研究・結果	技術者・モデルの感想も含めて結果を確認			
49		Body症例研究・結果	回数を重ねた際の変化を見る			
50		Body症例研究・まとめ	化粧品&ハンドテクニック・機器 &化粧品&ハンドテクニックとの違い			

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス							
◆教科	総合応用技術	◆科目	エステティック学Ⅴ	◆科目コード	60710	◆授業の方法	講義・実習
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（後期）	◆担当教員	専任教員・非常勤講師（実務経験あり）	◆授業の回数	3h×50
◆受講対象者	エステティックコース選択者						
◆授業の目的と概要	日本エステティック協会（AJESTHE）の資格を理解し・CIDESCOインターナショナル資格試験に合格する為の技術・知識を身につける。 ※担当教員はエステティシャンとして数多くのお客様の美容上のお悩みをケアした経験を持ち、エステティシャンとして10年以上のキャリアを持つ。 ※ 保有資格 / AJESTHE認定講師・CIDESCOインターナショナル						
◆到達目標	コンサルテーション力をしっかりと身につけ、トリートメントプランをたてをててることができる./ 衛生管理者資格取得 生理解剖学を理解し、技術と理論を繋げる。症例研究として同じモデルに繰り返し行うことで、結果を出せる技術を行う。						

回数	授業内容①	授業内容②	授業内容③	使用教材		備考
1	症例研究 / 学科	Body症例研究・まとめ	写真も含めてまとめる			
2		Body症例研究レポート	テーマに合わせてレポートを作成			
3		Body症例研究レポート	テーマに合わせてレポートを作成			
4		Body症例研究レポート	テーマに合わせてレポートを作成			
5		Body症例研究レポート	テーマに合わせてレポートを作成			
6	症例研究 / 学科	Facial症例研究・コンサルテーション	コンサルレーションを確実にとりトリートメントプランを立てる			
7		Facial症例研究・コンサルテーション	症例研究のテーマを作る			
8		Facial症例研究・トリートメントプラン	化粧品の成分・機器の目的と効果を理解し進める			
9		Facial症例研究・トリートメントプラン	化粧品とハンドテクニックのみでの効果を想定する			
10	症例研究 / 実技	Facial症例研究①	ディープクレンジングと機器との組み合わせを理解する			
11		Facial症例研究②	研究結果を1回ずつ確認・撮影			
12		Facial症例研究③	変化を確認し、さらにホームケアアドバイスなどを見直す			
13		Facial症例研究④	最終の結果を確認			
14		Facial症例研究①	化粧品とテクニックの効果を出すためにデープクレンジング・マスクを含む			
15		Facial症例研究②	研究結果を1回ずつ確認・撮影			
16		Facial症例研究③	変化を確認し、さらにホームケアアドバイスなどを見直す			
17		Facial症例研究④	最終の結果を確認			
18		Facial症例研究レポート①	テーマに合わせてレポートを作成			
19		Facial症例研究レポート②	テーマに合わせてレポートを作成			
20		Facial症例研究レポート③	テーマに合わせてレポートを作成			
21	症例研究 / 学科	Facial症例研究・結果	技術者・モデルの感想も含めて結果を確認			
22		Facial症例研究・結果	回数を重ねた際の変化を見る			
23		Facial症例研究・まとめ	化粧品＆ハンドテクニック・機器＆化粧品＆ハンドテクニックとの違い			
24		Facial症例研究・まとめ	写真も含めてまとめる			
25		Facial症例研究レポート①	テーマに合わせてレポートを作成			
26		Facial症例研究レポート②	テーマに合わせてレポートを作成			
27		Facial症例研究レポート③	テーマに合わせてレポートを作成			
28		Facial症例研究レポート④	テーマに合わせてレポートを作成			
29	衛生管理	衛生管理者資格対策①				
30		衛生管理者資格対策②				
31		衛生管理者資格対策③	衛生管理者資格試験			
32	実技 /Facial	CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Facial一連の流れ				
33		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Facial一連の流れ				
34		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Facial一連の流れ				
35		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Facial一連の流れ				
36		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Facial一連の流れ	模擬試験			
37	実技 /Body	CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Body一連の流れ				
38		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Body一連の流れ				
39		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Body一連の流れ				
40		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Body一連の流れ				
41		CIDESCO試験対策・口頭試問含む / Body一連の流れ	模擬試験			

42	化粧品学	SOTHYS化粧品を学ぶ				
43	実技 /Facial	SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
44		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
45		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
46		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
47		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック	テクニックチェック			
48	実技 /Body	SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
49		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック				
50		SOTHYS化粧品サロンケア・テクニック	テクニックチェック			

評価方法及び基準	100点満点での実技テストを行い、チェックリストによる減点方式とする（授業8割以上の受講をもって評価する）
	【評価】80～100点→A評価　70～79点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価
	①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。
	②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。60点～69点の場合には、技術講習の受講を義務付ける。
	③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。